

SINCE 2005

Vol.222
monthly issue

加子母通信

October 2023



特集 加子母歌舞伎公演

パリ公演から五年、明治座で再び「俊寛」

パリ公演から五年、 明治座で再び「俊寛」

俊寛



2018年
スペイン サラマンカ大学の
美智子様ホールでの公演を終えて
マジヨール広場へ向かう役者たち

加子母歌舞伎保存会の初海外公演から五年。コロナ禍の前に行けて良かったなと思いついてみると、なんだかもう一度やりたくなってきた。当初「俊寛」は封印するということだったのだが、みんなもやりたいと言っているので師匠に相談したところ再演が決まった。普段は同じ演目を何度もやることはほとんどなく一年に二回やったらしばらくやることはない。しかしこの俊寛に関しては二〇一八年明治座での公演に続きフランスで二回、スペインで二回、ぎふ清流プラザでの凱旋公演など本公演だけでも五回おこなっている上にそれぞれのリハーサルを含めると圧倒的に多くやっているのが特別な演目なのだ。しかし加子母の明治座では一回だけなので加子母の人に見てもらえる機会はそう多くはなかったため、今回はぜひ。

回数多くやると、わかってきたななどと言われたことはないけれど、自分では少し深いところまで意識がいくようになったと思うもので、さらに知りたいという欲求さえ出てくるのだ。

前回は千鳥役を特別出演の松本奈津美さんに勤めてもらったが、今年は保存会の丹羽加奈美が務めるので奈津美さんに引張ってもらっていた自分を自分たちでやるのが大変だと思うが、少しはわかっている気がする。なのでなんとかなると思ってる。

そもそも加子母が五年前に俊寛をやることになった経緯からして、たくさんの方のいろんな思いによって支えられて実現したのだ。しかも尽力していただいた方のうち何人かは鬼籍に入られた。今を全力で楽しまなくてはいけない。当たり前に来年が来るとは限らない。コロナ禍でそれを学んだ。興味のある部分をいかに楽しむかが大事だ。そういう意味で地歌舞伎は内容もさることながら作る楽しさもある。

前回は俊寛が登る大岩のセットは東白川の保存会から借りたものを使ったのだが、今回は自分たちで明治座に適したものを作ろうとみんなで集まり、芝居の進行やサイン感を考えながら、分かった気になってメンバーそれぞれが得意なところを担当し、あれこれと工夫が生まれてくる。そうやって少しずつ自分たちの芝居になっていくような気がしてモチベーションも上がった。

今回、初参加の子供や大人もいるが、初めてでも歌舞伎なんて普段の生活にはないので新鮮で楽しめると思う。

ことさら俊寛は味のある芝居だと思う。私なんてそれだけで飯が三杯は食える。

第四十九回 加子母歌舞伎公演

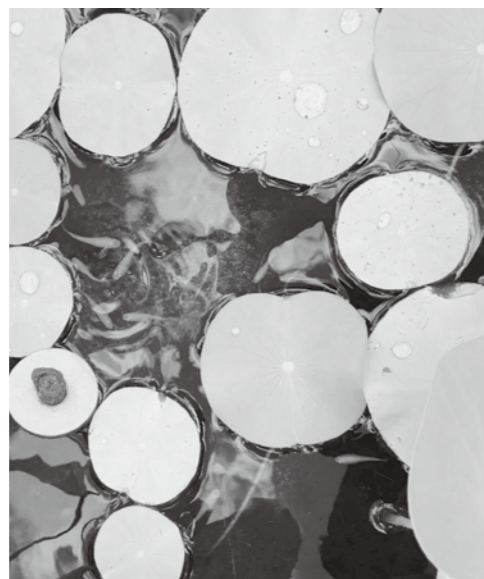
令和五年十月二十九日(日)午後一時開演 入場無料 振付指導 松本団女

- 一、 浮世柄比翼稲妻 仲ノ町鞘当の場
- 二、 本朝二十四孝 十種香の段
- 三、 平家女護島 鬼界ヶ島の場「俊寛」

わが家のPet!

中切 メダカさんたち #37

ぼくたちには名前がない。だって200種類以上の仲間がいて、数を数えるとご主人も分からない位沢山の家族や仲間がいる。4、5年位前だったかな?ご主人がハスの花を育て始めたんだ。ハスが増えてきたら、ポーフラも増え始めて、増えない為にぼくたちを飼うことにしたんだ。交配して新しい色や柄が出ると嬉しいんだって。お値段が高いメダカさんは、長生きしないみたい。これからどんな風になっていくのか楽しみだ。



りえ



コウノトリ

	2022年度		2023年度	
	男	女	男	女
4月	0	1	0	0
5月	1	0	1	0
6月	1	0	0	0
7月	0	0	0	0
8月	1	0	1	0
9月	0	0	0	0
10月	2	0		
11月	0	0		
12月	0	0		
1月	2	0		
2月	1	0		
3月	0	0		
計	8	1	2	0

(令和5年9月15日現在)

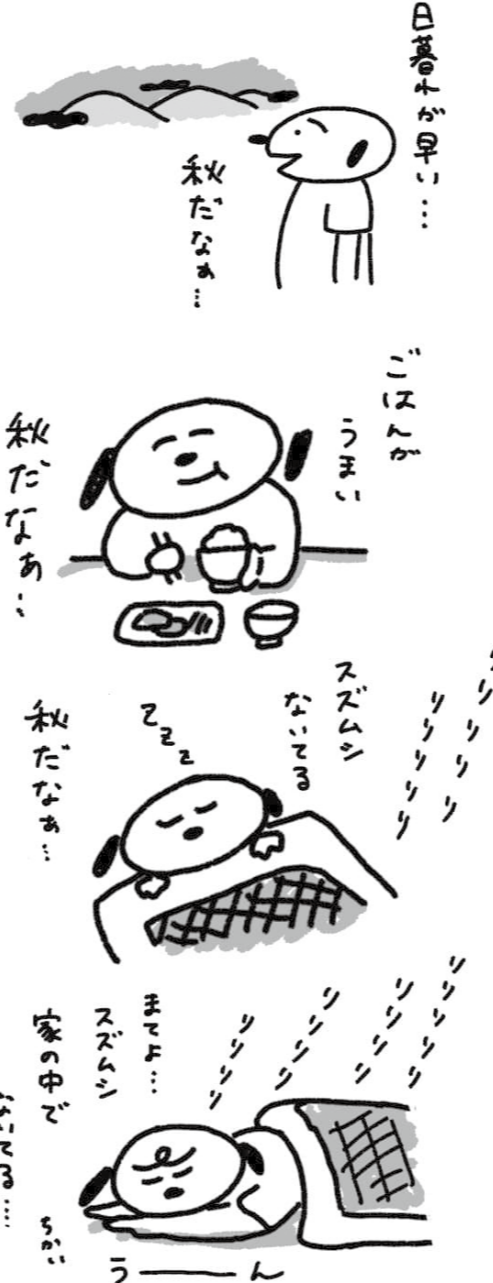
かしも通信文芸

短歌 朝立ちのバス登り来る峠路 松蟬すでに啼き競いをり 田口輝耕子

短歌 雑草をなげきつつ取る老いた母に 二四一Dの効果を説明す 田口はじむ

短歌 日毎通る道のダリヤの忘れられず 来年の種を頼み置きたり 佐藤狂浪

わたしもかしも vol.85



かしもっ子タイムズ

丹羽淳一

ものさしの神様

仕事場で流行っている無くした物を見つけるおまじない。ものさしの神様に頼むというもの。やり方は簡単で、失せ物があった時に、ものさしをなるべく高いところに置いて、失せ物を探して欲しいとお願いをする。(人によっては天井などから紐を下ろし、ものさしを吊るす)見つかった時には高いところに上げたものさしを降ろす。これが結構見つかる。個人的にも無くした財布が『なんでこんなところから?!』と言うところから見つかった。さて、いわれはなんだろう?と教えてくれた主に聞いてみたところ、どうやら嫁ぎ先の下区の義母から聞いたとの事でそれ以上調べても分からない。ここからは完全に個人の妄想なのだが、ものさしの神様の正体は『加子母の歴史と伝承』40話に出てくる”おしゃもじ様”では無いだろうか。おしゃもじ様とは、かつて角領に昭和30年頃まで祀られてあった祠で、太閤検地の測量道具を祀り、尺や貫を測る神様とされている。現在その祠は無い。おしゃもじ様とものさしの神様。どちらもものを測ることにまつわる神様だ。単なる偶然かもしれないが、どこか関係性を見出してしまふ。しかし、正体はなんであれ、”神様”と名のつくものを場合によっては吊るすとはなかなかすごい話だ。ここに加子母の人たちの超自然的なものに対する剛気さを感じるのがなんとも面白い。

佐野智哉のキヅキノート

最近、キヅキノートではなく、もっばら息子ノート。誰も見ていないだろうとタカをくくって、気楽に書いていたら、最近、「見ているよ」と声を掛けてもらうことが増えてきました。少し恥ずかしいけれど、やっぱり嬉しいものです。いつもゆるくプライベートな内容になってしまっていますが、かしも通信が地域内に限定された紙媒体ということも気楽にできるポイントですね。最近の息子は、いまだルールやモラルの存在しない世界で、カエルのように毎日びんぴん飛んでケラケラ笑っています。心配することも多いですが、僕もつられてびんぴんケラケラ、家の中でカエルの合唱のようになっています。自由に一生懸命に表現することが、自分だけでなく、その周りに影響を与えるのだと笑いながら思うのでした。



ある日の学童～カマキリの受難～

夏が終わりに近づくと、外の草むらや植え込みのあたりから虫の音が聞こえてくる。時おり、家の中にも入ってくるらしく、夜、遅い時間に電気の消えた廊下を歩くと、大きい虫の音に驚かされたりする。学童にきている2年男子は今、カマキリ狩りにはまっている。オオカマキリという種類だけあって、体長10センチを優に超える。大きい目をぎょろつかせ、三角の顔を斜めにして、大鎌を振り上げる様は、その迫力におおっとなる。2年生男子には、それはそれは魅力的な虫に違いない。先日「カマキリ捕まえに行くぞ～」と、2年男子3人が出かけた。M君が早速、お腹の大きいメスのカマキリをゲット!体長12センチ程、6本の手足を伸ばすと、15センチもあるだろうか?噛まれても平気で捕まえている。鎌のギザギザが指に食い込んで痛かろうに。その内、ほっそりとしたオスも捕まえた。餌になるバッタ、イナゴも小さい虫カゴに入れる。カマキリも羽をバタつかせ逃げようとするが、押さえつけられ、またカゴに。秋はカマキリも産卵の時。虫カゴに入っているオスのカマキリは、メスに食べられてしまうのだろうか?いえ、その前に、虫カゴから出れず、忘れられてしまうのでは?いえいえ、捕まえられたメスは、きっと、カゴの中で卵を生み、ちゃんと来年の秋には子供達と格闘しているに違いない、と思う。

かしも紀行

里山スケッチ



編集後記

編集長/秦雅文

今年は暑いのでまだ夏のようなつもりでいたら、すでに9月も半ばを過ぎている。まだだいぶ先のように思っていた歌舞伎公演も気がつくと来月に迫ってきた。準備をしてないわけではないが予定ではもっとやるつもりだったことが多くあってちょっと焦る。

先日、岐阜市で会議の際に地歌舞伎を知っているか聞いてみたところ岐阜県内の人でも地元保存会がないところは、知らないという人が多かった。

まあ、年に1日だけやる芝居で、せいぜい500人ほどしか入れない芝居小屋でやるのだから、見に来た人というのも全体ではわずかだ。しかし話をするとみんな興味をもち、何より加子母というのはそういう文化のある地域なんだというイメージを持って魅力的に思ってくれる人が多いのも事実。見に来た人にとっては特別のものになっているようなので、これを生かさないと手はないと思うのだが。

今回は20年くらい前から大道具を手伝ってくれている武蔵野美術大学のOGの渡邊さんが出演するが、なんと東京から稽古に通っているのだ。

今を楽しむ気持ちは学ばないといけない。

かしも食堂

昔から伝わる絶品料理を紹介！
食には文化があらわれる。



ネギのマリネ

ネギが大好きで、畑の回りにネギを植えています。友達が「また、ねぎ植えてる」と笑います。草よりいいし、一年中植えておけるし、...。料理家栗原はるみさんの料理にネギのマリネがよく紹介されます。お気に入りみたいです。ネギが主役で、ご馳走になります。不思議な料理にはまっています。夏どりに向くホワイトツリーのネギがいいです。中島工務店の産直にネギが売っています。はるみさんのレシピを載せますが、白ワインはお酒で出し汁にしても絶品です。



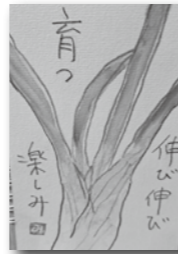
材料4人分

- ねぎ 4本
- スープ 2カップ
- 白ワイン 1/4
- ローリエ 一枚黒こしょう(粒) 小さじ1/2
- 塩、オリーブ油

作り方

- ①ネギを6cm位に切る
 - ②スープと白ワインが煮たったらネギを入れ弱火で20分煮る。
 - ③塩で味を整え、黒こしょうを入れて休ませる。
- ☆食べるときにオリーブ油をかける。黒こしょうがいい。
☆生ハムや刺し身を巻いてオシャレに!

絵手紙：加子母公民館絵手紙教室協力
加子母の美味しい料理や昔の料理など教えてください。
福井三月 ☎ 0573-79-2627



小郷 けいちゃんの こざと

お持ち帰りも好評です!

Tel: 79-3618
(サブロクジュウハチ)
定休日 月・火曜日



ニワデン

(一財)岐阜県消防設備協会会員

消火器の点検、販売、廃棄処分ご相談ください。
悪質な消火器の訪問販売にご注意を!

Tel. 79-2285



かしも通信
2023年9月25日発行 No.222

Publisher Hara Yuumi
Editor in Chief Hata Masafumi
Deputy Editor Honma Kiyoko
Editors Tanaka Hiroko
Sato Yoko
Sano Tomoya
Fukui Yayoi
Susaki Yusa
Fukui Rie
Taguchi Sachiko
Correspondent Zenda Nao
Illustrator Honma Kiyoko



かしもっ子だよ全員集合!



小 加子母小・中合同運動会～温かい応援いっぱい～



こ プール活動

中

学校 ▶ 9月3日は加子母小中学校の環境整備作業がありました。私(教頭)は今回の異動でちょうど10校目の学校になりますが、初めて経験した、素晴らしい環境整備作業でした。感激すると同時に、今まで感じていた良い意味での違和感の理由が分かった気がしました。

その良い違和感とは、他の地区と比べ「お父さんを尊敬している」とか「お母さんが好き」と口にする子の人数がとても多いこと、そして掃除や作業が上手で、とても意欲的に取り組めることです。加子母の人達からすると「そんな当たり前だよ」と言われるかもしれませんが、いろいろな地区で過ごしてきた私にとっては、とても尊いことであり、今の社会から無くなりつつある事だけど、社会から無くなってはいけない事だどつくづく思ったのでした。

今回、環境整備作業で体を動かすお父さん、お母さん、そしてボランティアに来てくださっていた地域の方の働く姿を子ども達はとてもよく見ていました。そして私同様、その姿を格好いいと思ったり素敵だと感じたりしたのだと思います。身近な大人の後ろ姿を見て憧れを持ち、その姿を真似しながら成長していく。そんな好循環が加子母にはあると感じました。そしてこの土地で働けることをうれしく、誇らしく思える一日となりました。

小

学校 ▶ 9月16日に、加子母小・中合同運動会を行いました。小学校スローガン「みんなで団結し、全力で楽しもう」、中学校スローガン「翔～挑戦・自治・成長～」のもと、加子母の小・中学生がつながりを深め、互いに励まし合い、

精一杯力を発揮することを願って行いました。

加子母小全校児童66名、加子母中全校生徒53名は、5月から小中子供会などを通してともに活動しながら交流を深めてきました。合同種目「なかよし玉入れ」では、小学生も中学生も一緒になって取り組み、玉の数を数え喜び合う姿が素敵でした。

小学生は中学生に「かっこいいなあ」と憧れをもち、中学生はリーダーシップを発揮し、小学生へも熱い応援を送ってくれました。これからも加子母の小中学生のつながりを大切にしていきたいと思えます。

こ

ども園 ▶ コロナ禍はプール活動ができませんでしたが、今年度は小さいですがプールで遊ぶことができました。泥遊びや水遊びから始まり、少しずつ水の感触に慣れていきました。プール遊びでは初めのうちは顔に水がかかると嫌がっていたうさぎ組の子も、友だちの姿に刺激を受け、顔を洗うことも立派に水をつけては「すごいね」「できたね」と褒められ嬉しそうでした。そして自信がつくと「みとって!」と水面に直接顔をつけられる子もいました。

たんば組・ぞう組の子は潜ったり、腕をピン!と伸ばしてバタ足で泳ぐ姿をみせてくれる子もいました。泳ぐことは勿論、みんなで『メリーゴーランド(手をつないでグルグル回る)』をしたり、暑い夏でしたが思い切り水遊びを楽しむことができました。

乳

幼児 ▶ 加子母・付知子育て支援センターくるりんば感染症拡大防止対応の「くるりんば開放日」を設けています。



10月の行事予定	
【お願い】新型コロナウイルス感染症等の拡大防止のため、イベント等が中止や延期、規模を縮小される場合がありますので、ご承知おきください。	
1 日	加子母文化祭(明治座)
2 月	【こども園】1号認定幼稚園コース振替休日
3 火	【こども園】かしもっこ広場 【中学校】1年生総合神宮備林見学
4 水	1歳6か月児健診(午後～福岡会場)
5 木	【中学校】後期生徒会選挙
6 金	健康推進委員と歩こう!(9:40～) 【小学校】前期終業式 【中学校】前期終業式 【中学校】ストレッチ教室(全校体育)
7 土	
8 日	大型・有害ごみ(9～13)
9 月	スポーツの日
10 火	人権・行政合同相談(13～15) 【こども園】身体測定 【小学校】後期始業式・個別懇談 【中学校】後期始業式・三者懇談会
11 水	【中学校】三者懇談
12 木	【こども園】おにぎりの日 【小学校】個別懇談 【中学校】三者懇談会・中津川警察署講話
13 金	【小学校】個別懇談 【中学校】三者懇談会
14 土	
15 日	不燃・硬質・資源ごみ(16～17)
16 月	【こども園】避難訓練
17 火	【こども園】交通安全教室
18 水	集団がん検診・特定健診(加子母公民館) ↑ 事前に予約が必要です 【こども園】誕生日会 【中学校】第3回中津川市教育研究会
19 木	【こども園】木育(年長親子) 【中学校】歯科教室
20 金	【小学校】3年生社会科見学
21 土	
22 日	
23 月	
24 火	【こども園】歯科検診 【中学校】2年生職場体験①
25 水	区長会(14:30～) 3か月児健診(午後～福岡会場) 【こども園】木育(年長) 【中学校】2年生職場体験②
26 木	【こども園】慰霊祭(年長) 【中学校】防災教室
27 金	【こども園】内科検診 【小学校】就学時健診
28 土	
29 日	加子母歌舞伎公演 (12時開場 13時開演～明治座)
30 月	
31 火	

健康推進員と歩こう!
10月6日(金)9:40～10:00受付
福崎公園駐車場集合
※申込不要 参加費無料

こちら総合事務所です

このページでは、加子母総合事務所からみなさんへ、地域に密着した情報をお知らせします。
みなさんの身近な地域情報をお寄せ下さい。(加子母総合事務所:0573-79-2111まで)

令和6年度 幼稚園・保育園・認定こども園・小規模保育事業所 入園・入所案内

受付期間 10月2日(月)～10月20日(金)

提出先 幼児教育課、各総合事務所、保育園、こども園、小規模保育事業所

令和6年4月に入園、入所を希望される方は、申込書類を期間内に提出してください。期間を過ぎると入園時期が遅れることがあります。提出書類など詳しくは幼児教育課、加子母総合事務所へご連絡いただくか広報なかつがわ10月号、市のホームページをご覧ください。
幼児教育課 ☎0573-66-1111(内線4241・4223) 加子母総合事務所 ☎0573-79-2111

～人権・行政合同相談所を開きます～

10月10日(火)13:00～15:00 加子母公民館第一研修室

毎月第4火曜日に行っている特設人権相談と偶数月の第2火曜日に行っている行政相談を合同で開きます。いじめや差別、虐待、家庭内の暴力など日常生活の中で困ったこと、国や県、市などの業務に関する苦情や要望などありましたらご利用下さい。

図書室だより

【10月おすすめ図書】

■山のごはん (著 沢野ひとし)

「山で口にするものはどれもこれも美味しく、忘れられない」。精力的に活動の場を広げているイラストレーターであり、半世紀以上にわたる登山歴を持つ沢野ひとしの山エッセイから、「ごはん」に焦点を当てたイラスト&エッセイ集。

■僕の樹には誰もいない(著 松村雄策)

音楽は続く。生きていこう。ビートルズ、ディラン、プロレス、落語、ロッキング・オンetc. 松村雄策、最後の12年間の結晶。最新エッセイ集。

■東大8年生 自分時間の歩き方(著 タカサカモト)

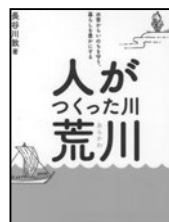
人生に迷った東大生が「自分の時間を生きる」ことを決意!メキシコでタコス屋になり、ブラジルでサッカークラブの広報、そして、ネイマール選手の通訳など、“世の中を放浪”しながら自分に合った幸せの形を見つけていく自伝的痛快エッセイ!!

■人がつくった川・荒川 水害からいのちを守り、暮らしを豊かにする(著 長谷川敦)

荒川は、人の手でつくられた川である。流れを変えることで江戸の繁栄をうみだし、水害から人々を守った歴史、川と結びついた人々の暮らしなど、川の変遷を追いかけながら、地球温暖化による大水害をどう防ぐかまで、荒川の過去・現在・未来を伝える。

■ひろいせかいはきみのもの(文 オリヴィア・ホープ 絵 ダニエル・イグナス)

おはよう、あさだよ こわがらないであかるいせかいにとびたとう ジャングルをかきわけ木によじのぼってつなわたりですむんだ そとのせかいはきみのもの…ひろいせかいはきみのもの!



加子母の人口と世帯数(令和5年9月1日現在) 世帯数:945世帯 男:1,200人 女:1,236人 計:2,436人